

平成14年6月10日
原子力安全対策課
(14-36)
<11時記者発表>

敦賀発電所2号機の第12回定期検査開始について

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力116.0万kW）は、6月11日から約2カ月の予定で第12回定期検査を実施する。

定期検査を実施する主な設備は次のとおりである。

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電装置
- (9) 蒸気タービンおよび蒸気タービン付属設備

なお、敦賀発電所2号機は、7月上旬に予定される定期検査の最終段階である調整運転開始から、定格熱出力一定運転*1を実施することとしている。

*1)原子炉熱出力を常に一定(100%)として運転する方法で、海水の温度が下がり、復水器の性能(熱効率)が良くなる冬季において、これまでの定格電気出力を最大で約2.5%程度上回る運転が見込まれる。

1. 主要工事等

(1) 湿分分離加熱器伝熱管取替工事

(図－1 参照)

蒸気発生器の信頼性向上の観点から、湿分分離加熱器(A・B)第1段の伝熱管を銅系材料のものからステンレス系材料のものに取り替え、蒸気発生器への不純物の持ち込みを低減する。

(2) 定格熱出力一定運転関連工事

定格熱出力一定運転を導入するにあたり、運転管理の信頼性をより一層向上させるため、中央制御室に原子炉熱出力を常時表示する原子炉熱出力表示器を設置する他、運転情報を管理しているコンピュータのソフト改良や、発電機出力の監視画面の改良を行う。

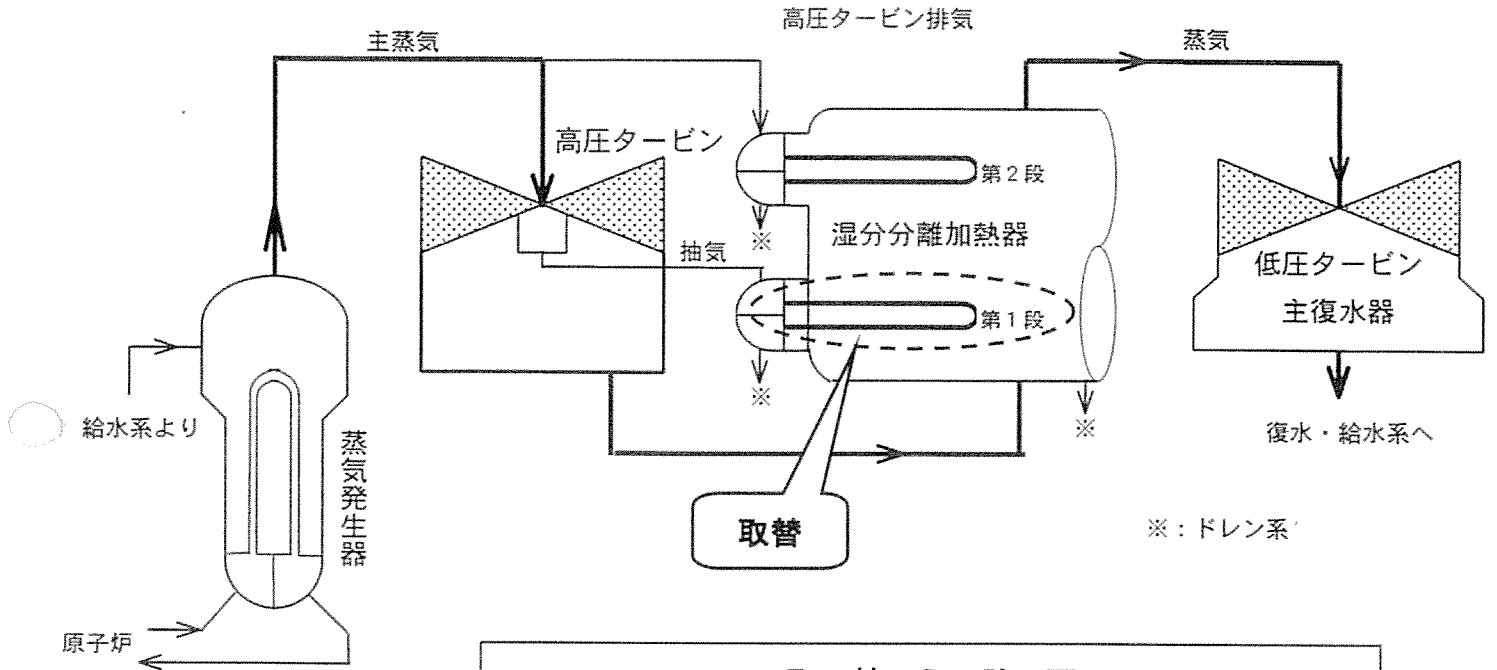
2. 燃料取替計画

燃料集合体全数193体のうち、81体を取替える予定である。81体のうち80体は新燃料(すべて高燃焼度燃料)である。

3. 運転再開予定

原子炉起動・臨界	:	平成14年7月上旬
発電再開(調整運転開始)	:	平成14年7月上旬
定期検査終了(営業運転再開)	:	平成14年8月上旬

湿分分離加熱器伝熱管取替工事



取 替 え 計 画	
(以下の機器の伝熱管を銅系材料からステンレス系材料に取替える。)	
第1 2 回定検(平成14年度)	
・湿分分離加熱器 A, B 第1段	
[第2段：第10回定検(平成11年度)で取替済。]	

湿分分離加熱器構造図

